

うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 63



門真市の地場産業を けん引する特産品

門真はもともと低湿地で、たびたび水害にあい、仁徳天皇が茨田（まんだ）の堤をつくらせ改善されました。米作りよりれんこんの方が土地にあっていいということで、地蓮を水田に植えてれんこんが育てられてきました。

中西農園は門真で4代続くれんこん農家。加賀蓮を導入し、大正から昭和にかけては、門真の土は粘土質でそこで採れるれんこんは美味しいと特産品になり、最盛期には200ヘクタールで生産していました。



中西農園の中西正憲さん。学校給食の食材に供給したり、子どもたちにれんこん掘り体験を提供しています。

その後、松下など電気産業が来たことや、万博建設関連労働者の居住地として宅地化が進み、農地が少なくなる中、地場産業としてれんこんを残す努力をしてきました。現在30軒ほどが生産しています。

6年ほど前から「河内れんこん」とされていたものを、「門真れんこん」として、宅配や料理屋へ売り込み、高品質が認知され、高級料理店と取引をするようになっていきました。生産者の収入を安定させ、焼酎やロールケーキなどもつくられるようになりました。「蓮根（はずね）餅」と呼ばれる郷土料理があり、中西さんが経営する「門真れんこん屋」でも食べることができます。



生活創造館大真トップセンターアズの「門真もん」コーナーでも販売されています。蒸し焼きにするとお餅のような食感になります。

Culture Navi かるちがーナび

材料（4人分）
 ■スパゲティ300g、ベーコン150g、ちりめんじゃこ50g、小松菜300g、玉ねぎ200g、エリンギ150g、にんにく1片、オリーブ油大さじ1、塩少々、こしょう少々、薄口しょうゆ大さじ1

作り方
 ①小松菜はゆでて色止め後、2センチ程度に切る。玉ねぎは薄切り、エリンギは短冊切り、にんにくはみじん切りに。
 ②スパゲティを同時進行でゆでる。
 ③フライパンにオリーブ油をひき、にんにくを弱火で炒め、香りがでたらベーコン、玉ねぎ、ちりめんじゃこを炒め、調味料を入れる。
 ④ゆで上がったスパゲティと小松菜を加え、混ぜ合わせたら出来上がり。



美味しく摂ろうカルシウム

作りませんか

給食の人気メニュー

野菜とじゃこのスパゲティ

吹田市職労 吉野 健治さん

協力：現業評議会・給食部会



「オリエント急行殺人事件」

希代の推理作家アガサ・クリステイが作り出した名探偵エルキュール・ポアロは、シャーロック・ホームズと並ぶ人気キャラクターです。ベルギー人で、エルキュールはヘラクレスのこと。長編・短編合わせて89の作品に登場して名推理で事件を解決していきます。中でもファンの人気が高いのが1934年に発表された「オリエント急行殺人事件」です。イスタンブールからロンドンに向けて走るオリエント急行の車内で、アメリカの富豪のラチェットが刺殺されました。体には何と12か所もの刺し傷がありました。列車に居合わせたのが名探偵のポワロです。殺人現場の車両に居合わせたのは12人の

ミステリーの名作が 再びスクリーンに登場

乗客と1人の車掌。名探偵が車両という密室殺人事件の解明に挑みます。

ケネス・ブラナーのポワロはじめ、ジョニー・デップ、ミシェル・ファイアーなど豪華なキャストも見ものです。アガサ・クリステイは当時おこった飛行家リンドバーグの誘拐事件とオリエント急行の事故をヒントに書き上げたといわれます。これまでも映画やテレビ作品でよく登場しています。1974年にはアルバート・フィニーのポワロ役で同名映画が作られています。今回は吹雪中を走る列車のシーンや、行動的なポアロが見ものです。

上映時間114分。

16mmフィルムが えいが

心に響くこのひとこと

諦めるな。頑張れ。
 光が見えるか。
 それに向かってはっていくな

サーロー 節子 (1932年～)

I CAN (核兵器廃絶国際キャンペーン) へのノーベル平和賞授賞式で、被爆者として初めて演説に立ったサーロー節子さん (カナダ在住) が「核兵器は必要悪ではなく絶対悪」と訴え、核兵器廃絶に向けて会場の参加者へよびかけた言葉。13歳の時に広島で被爆し、がれきの中でこの言葉をかけられ生き延びたことなど、被爆体験を国際会議などで証言する活動をつづけています。

今月の
記念日

「防災と
ボランティアの日」
1月17日

1995年1月17日午前5時46分、淡路島北部沖を震源とするマグニチュード7.3の直下型地震が発生した阪神・淡路大震災から23年となりました。最大震度7、死者6,434人、負傷者43,792人を記録する戦後最大の都市型災害の大震災では、政府や行政の対応の遅れが批判された一方で、学生を中心としたボランティア活動が活発化し、「日本のボランティア元年」と言われました。これをきっかけに、ボランティア活動への認識を深め、災害への備えの充実強化を図る目的で、1996年から1月17日が「防災とボランティアの日」と制定されました。